

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスあゆむ			
○保護者評価実施期間	令和 7 年 1 月 28 日 ~ 令和 7 年 2 月 7 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16世帯17名 (16名に配布)	(回答者数)	16名
○従業者評価実施期間	令和 7 年 1 月 28 日 ~ 令和 7 年 2 月 7 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 2 月 12 日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な特性のある子供たちに、職員が対応できるように常に連携を図っている。	受け入れ前と終了後のミーティングを欠かさずに行っている。	継続していく。
2	利用児童の安全を第一に考えた上で、職員で意見を出し合いながら支援に当たっている。	小さなことでも声を出して、職員が意見を出し合う雰囲気づくりを心掛けている。	継続していく。 さらに、ミーティング以外の場でも意見のやり取りができるようにしていきたい。
3			

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	クールダウンするなどの個別のスペースの少なさ。 人数に対するスペースの手狭さ。	定員に対して、契約している児童の数が多。 1対1の支援が必要な児童が多く、対応する職員の人数を含めると多い。 (児童と職員の合計が20名を超える事がある。)	保護者との面談を通して、成長が認められた利用児童の契約の終了。
2	外部（特に家族等）への発信が少ない。	家族からの希望もあるが、児童発達支援センターに比べるとホームページのブログへの掲載が少ない現状がある。 また、いいでは通信も出している。	ホームページのブログの掲載頻度をあげる様にしたい。
3			